

平成31年度 グーフィークラブ事業報告

1. 概要

①運営目標

- 落ち着いた環境の中で生活できるように、25名の定員での運営を行いました。
- 子ども主体の活動ができる環境づくりを心掛け、5年生を中心に協力し合い子ども同士が支え合う生活を送ることで上級生を慕い、慕われることが自信となって表情にも表れるようになりました。
- 園内年長児との交流会では、園児の就学に対する意識づけのサポートをする役割を担うことで子どもたち自身が成長を感じ、自信を持てるような活動をおこないました。

②定員 25名

月極め利用者も学校のある平日は減少し夏休みなど長期休みの利用者が増えてきているのでそのニーズに合わせていくようにしました。
必要に応じてスポット利用者の受け入れも行いました。

③事業日数 291日 (日曜、祝日、園行事の日、12/30～1/4は休園)

④開所時間

平日 8:30～18:00 (延長は7:00～8:30・18:00～19:00)
土曜 8:30～17:00 (延長は7:00～8:30・17:00～18:30)

⑤職員数 指導員 1名 (保育士資格有)

2. 事業運営

①教育理念

- 放課後の生活を安全に守り、基本的な生活習慣の指導や学習の習慣づけの援助を行う
- 子ども同士共同しながら生きる力を育む

②教育方針

1. 生活の流れを把握し、リーダーを中心に子ども主体の活動を行いコミュニケーション力をつける
1. 正しい生活習慣を定着させる
1. 他律から自律へと成長していく過程を援助する
1. 「早寝 早起き 朝ごはん」を守る

1. 個々の存在を認める

③学年別目標

1、2年生

- 大事なことを聞く力、話題に沿って話し合う態度を身に着ける
- 集団の一員として自分の役割について気づき、適切な行動ができるようにする

3、4年生

- 筋道を立てて話す力、聞く力、話し合う力を身に着ける
- 目的を持って仲間とともにやり遂げる力を育む

④職員配置 学童保育指導員 1名（保育士資格有）

⑤活動内容

- 本来は4年生で卒業ですがリーダー力のある5年生4人に残ってもらい、子ども同士協力し合い、子ども主体の活動を行う事で考える力や先の見通しを立てながら活動ができるようになりました。

しかしリーダーだけが力を発揮し、下級生の中にリーダーシップを取れる子が育ってきていないので、次年度は次のリーダー育ても意識して取り組んでいきます。

- グーフィー内活動

集中力や意欲向上のためけん玉を取り入れました。けん玉協会の検定に基づきチャレンジカードを作成し取り組むことで難しい技にも挑戦しようとする姿が見られました。足腰を使い、腹筋力もつくなど様々な効果があるので今後も継続していきます。

- 乳幼児とのふれあいは入園当初の馴れない乳幼児の手伝いは出来ましたが学校がある平日は時間的にふれあうことが出来ませんでした。

乳児との交流できる恵まれた環境にあるので学校の長期休みの時には少しでも時間を設けていくようにします。

- 保小連携

年長児と交流する事で自分の成長や自信に繋がるような活動を意識して取り組みました。

生駒山登山を通して自分一人でも登ることも大変な道のりを下の子を励ましながら登り、頂上に着いた時の達成感を味わう事が出来ました。お泊り保育では年長児が出来ることも手を出し世話を焼き過ぎる場面が多々あり、交流の導き方の難しさを感じました。来年度はその辺の学童の役割を見直し、子どもたちとも考えていきたいと思えます。

●野外活動

- ・津波、高潮ステーションで映像による津波体験や津波の歴史を学びました。
- ・東大阪埋蔵文化センターに行き竪穴式住居パズルや火おこしの体験をしたり、勾玉づくり、土器づくりをしました。

●新型コロナ対策

3月初めから学校が休校で朝からの利用となり、グーフィー内での生活の仕方もその時の状況に応じてルールを変えながら対応していきました。距離を置くこと普段から子どもたちの距離間隔は狭い為、ただ「離れて」と言っても伝わらず。2メートルのひもの両端2人で持って距離を実感させることで間隔を知り、子ども達同士でも密にならないよう声を掛け合うようになっていきました。

子どもたちは検温、手洗い・うがい、マスク着用などの習慣づけ、子どもたちが帰宅後は室内の消毒も行いました。

⑥家庭との連携

- 毎月、活動内容を報告する「おたより」を配布しグーフィー内の様子を伝えました。
- 子どもの様子で気になることは連絡帳、お迎え時に保護者に様子を伝え、改善すべき点や特別気になることは個人面談を行いました。学校の友達とのトラブルで不登校になりかけた男児児童がいましたが、保護者、学校とも連絡を取り合い子どもの様子を見守り今では登校できるようになりました。

⑦人材育成

- 職員の資質向上及び専門性の向上を図るため、園内研修・園外研修へ参加しました。
- 救急講習（AEDの使い方、応急処置など）嘔吐処理の仕方の園内研修に参加しました。

⑧地域貢献

- 出張保育、園庭開放では受付と一緒に体操など地域の方々との交流を行いました。
- 瓢箪山公園の清掃を、夏休みの朝の日課としました。

⑨健康・安全

- 子どもの表情や様子の把握、異変時に注意し気になることはすぐに保護者と連絡を取り合いました。
- 看護師による手洗い指導をブラックライトを使用し体験学習をしたことで丁寧に手洗いをする子が増えました。
- 地域、学校などと連携をとり、登下校時の安全確保を行いました。下校時のトラブルはその日のうちに保護者に連絡をし翌日からの改善に努めました

- 警報発令時は子どもだけの移動は禁止し保護者の送迎をお願いしました。

⑩苦情解決

- 「苦情申し出窓口」(指導員が受付担当者)、「御意見箱」を玄関に設置し、個人面談、連絡ノート、アンケートなどで保護者の意見を聞き、いただいた意見や要望については概ね24時間以内に回答し、活動に反映させます。尚、回答については掲示板や広報に掲載をするようにしていますが、今年度は学童クラブに関しての苦情はありませんでした。

⑪リスクマネジメント

- 施設内や利用する公園、学校までの道中の危険個所を子どもたちと見つけ、なぜ危険なのか、どのように回避すればよいのかをサークルタイムで話し合うようにしました。
- 怪我や事故には十分に注意をはかりました。医療機関へ受診するような怪我はありませんでした。
- 災害時の避難場所、避難方法、備蓄品などについても子どもたちと災害時の行動について話し合いをし学習しました。